

▣ Bib03-03 知識インフラ構築の一翼を担う組織の活動

■ 【2016年5月5日】

▣ 目的

▣ 新たな知識の創造

- 新たな知識の創造
- 新産業の創出
- 科学技術イノベーション
- 知識教育
- 地域活性化
- 国際文化交流
- 学術研究

▣ 創造性の醸成

- 芸術文化の鑑賞
- 教養娯楽

▣ 情報資産の保有機関

▣ MLA

▣ 図書館

-
- 公共図書館
- 大学図書館
- 専門図書館
- 公文書館
- 博物館
- 美術館
- 寺社・仏閣
- 大学・研究機関・教育機関
- 出版社
- 個人サイト
- 民間サイト
- 地方公共団体

▣ 国の機関

- 立法府
- 行政府
- 司法

▣ 情報提供基盤

- ▢ 目的毎に最適化された発信サイト
 - 文献・Web情報サイト
 - 学術情報サイト
 - 科学技術情報サイト
 - 災害情報サイト
 - 文化情報サイト
 - 地域情報発信サイト
 - 海外向け発信サイト
- ▢ 情報（発信）の場の提供
 - 文献の提供から、あらゆる情報の提供へ
 - 知識探索・閲覧サービス（利用者の目的、レベル、利用環境に応じてきめ細かく）
 - 情報探索支援から、課題回答そのものへのナビゲーション
- ▢ 仮想空間（Webサービス）
 - ▢ 壁のない図書館
 - 図書館の枠を越えて、文献情報の枠を越えて、
 - いつでも、だれでも、どこにいても、閲覧可
 - 商用と無償の電子書籍が一体になった電子図書館サービス
 - ▢ あらゆる情報を探索（検索・閲覧）
 - 所蔵場所、媒体の形態を問わず、情報の網羅性・完全性を確保
 - テーマにより企画されたデジタルギャラリー
 - デジタル化されていない資料の遠隔複写申込み
 - 調べ方案内・オンラインレファレンス
 - ▢ 物理的空間（ファシリティサービス）
 - 博物館的展示スペース（現物を閲覧・鑑賞する場）
 - 外部公開できないデジタル情報の閲覧・複写申込み
- ▢ 知識創造基盤
 - ▢ 知識創造活動
 - ▢ 新たな知識の創造活動（様々な専門分野での活動）
 - 情報を二次利用した創作活動
 - 閲覧・鑑賞体験による新たな知見のインキュベーション
 - ▢ 人と情報、情報と情報の関連付け
 - ▢ 付加価値情報付け
 - 主題書誌（解題、目次、掲載人名、地理情報、、）

- 調べ方案内、レファレンス事例
- 情報間の意味的関連付け
 - 分散した組織が保有する情報を、情報内の記述個所が意味的に関連付けて知識化
- セマンティックWeb化
 - 意味的に関連付け
- リンクドデータ化
 - 構造化単位で紐づけ
- 創造活動支援活動
 - 文化財（有形・無形）の映像化・画像化・テキスト
- 基本情報付与（メタデータ、永続的識別子付与）
 - JPO出版情報登録センターが提供する近刊情報（まだ刊行されていない資料の書誌情報）
- NDL新着書誌情報の活用
 - NDLは、JPOが提供する近刊情報を提供
 - NDLは、納本資料の書誌情報をインプロセス段階から提供
 - NDLは、インプロセスデータ取り込み機能を実装するための情報提供、技術支援
- 知識化・構造化
 - （マイクロコンテンツ化）
 - 記事単位、章節項単位、
 - 段落単位、名詞単位
 - あらゆる情報資源の集約と意味的関連付け
- 辞書・典拠・シソーラス類の作成・維持
- 資料の有用性に関する情報
 - 参考文献、参考ウェブサイト
- 知識創造の場の提供
 - 物理的空間で集う場
（ファシリティサービス）
 - 異文化交流・出会い・議論の場
 - 出版者（著作者）と読者を繋ぐ場
 - グループによる学習ができる公共の場
 - 仮想空間での共同作業の場
（クラウドソーシング）
 - クラウドソーシングの場の提供

▢ 保存基盤

（情報のアーカイブ化）

▢ 各図書館の利用者ニーズに沿った蔵書構築

（知識保存基盤）

▢ 各図書館は、郷土資料等、各館独自コレクションによる蔵書構築

▢ 資料デジタル化及びアーカイブ構築

- 自ら保有する独自コレクションのデジタル化及びアーカイブ化
- 政令指定都市および県立図書館等は、地域の各図書館等のデジタル化及びアーカイブ構築を支援

▢ 自らのコレクションに加えて、他機関資料も含めて蔵書構築

- NDLデジタルコレクション（インターネット公開）の活用
- NDLデジタル化資料図書館送信サービス（図書館限定公開）の活用
- 他図書館等の公開コレクションの取り込み表示、ナビゲーション
- 商用電子書籍サービスの導入

▢ ノウハウ・知識情報のナレッジデータベース化

- レファレンス情報を他機関の情報と関連付けてデータベース化
- 出版社がDB化する出版情報（販売に資する情報）、書評等を書誌情報を補強する情報として活用

▢ アグリゲータ組織

（保存に責任を持つ機関）

▢ 業務

- 標準化推進

▢ システム

▢ コンテンツ収集システム

- 自動収集システム

▢ 恒久的保存システム

- エミュレーション
- マイグレーション
- ディザスタリカバリー

- コンテンツ提供システム

▢ 各アーカイブ組織

▢ システム

- コンテンツ生成（デジタル化等）業務・システム

▢ 保存システム

- メタデータデータベース
- コンテンツデータベース

- ▢ コンテンツ提供システム
 - メタデータ提供
 - コンテンツ提供
- ▢ 運用基盤
 - ▢ 戦略的企画・組織経営
 - 経営情報分析
 - ▢ 市場動向調査
 - 現状調査
 - 将来予測（今後20年を見据えて）
 - ▢ 新ビジネス戦略企画
 - ナショナルアーカイブの必要性和構築概念の認識
 - 業務プロセス再構築
 - ▢ 管理業務
 - 財務管理
 - 法務関連
 - 人材育成・人材確保
 - 広報・PR
 - 権利処理
 - ▢ 次世代サービス推進
 - 標準化推進
 - 研究開発・実用化実験
 - ▢ 事業推進
 - 外部機関との連携・協力